

ノロウイルスによる感染症・食中毒を予防しましょう

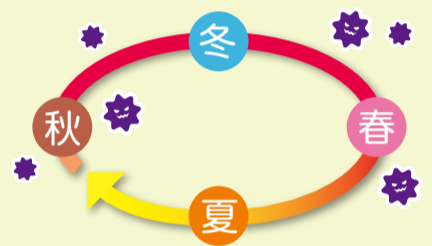



これからの季節は、ノロウイルスによる感染症・食中毒が多く発生します。

ノロウイルスによる感染症・食中毒を予防するために、正しい知識を身に付けましょう。ノロウイルスについて詳しくはこちら▶



ノロウイルスにまつわる、よくある3つの勘違い /

<p>勘違い ① ノロウイルスは冬特有の感染症食中毒である</p>	<p>勘違い ② ノロウイルス感染症・食中毒の原因は、生がきである。</p>	<p>勘違い ③ 予防には、エタノール消毒が効果的である。</p>
<p>正しくは...</p> <p>冬に多く発生しますが、<u>1年を通じて発生しています</u>。ごく少量のウイルス量でも感染し、嘔吐や下痢などの症状を引き起こします。<u>抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は重症化する</u>場合もあるため、1年中予防する必要があります。</p> 	<p>正しくは...</p> <p>ノロウイルスは口からウイルスを取り込むことで感染します。感染経路は、ノロウイルスが付着した食べ物を加熱せずに食べる【食べ物→人】以外にも、<u>【人→人】【人→食べ物→人】</u>があります。</p>  <p>詳しくはこちら▶ 厚生労働省ホームページ</p> 	<p>正しくは...</p> <p>ノロウイルスには、消毒用エタノールはあまり効果がありません。ノロウイルスの消毒には、<u>次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤が有効です</u>。</p> <p>また、せっけんを使って正しく手洗いをすることで、手指に付着したノロウイルスを洗い流すことも予防になります。</p>  <p>嘔吐物の処理方法(動画)▶</p> 

☎ 生活衛生係 ☎ 800-2451 ☎ 800-2516

子どもの健やかな成長のために

11月は児童虐待防止推進月間です

横浜市子ども虐待防止シンボルキャラクター「キャッピー」▶




子どもを育む「ポジティブ育児」


子育ては楽しいことばかりではなく、思うようにいかないことも多くあるため、ストレスを感じてイライラすることがあります。さらにコロナ禍でストレスを感じているかもしれません。しかし、それを子どもにぶつけず、子どもの気持ちや考えを聞きながら、親としての考え方も伝えてみましょう。

子どもと親が、共に成長していく「ポジティブ育児」で「子どもの生きる力」を育てていきましょう。

ほめ上手な関わりによって育まれる『子どもの生きる力』



- 前向きに取り組む力
- できるという自信からの達成感
- 工夫しようとする力
- 自己肯定感 ● 人への優しさ
- 愛されている自信・安心感
- 人とのやりとりによるコミュニケーション力



区ホームページにて「ほめ上手でポジティブ育児」の詳細について掲載予定です。詳しくはお問い合わせください。

子育てに関する相談機関

子ども・家庭支援相談

保健師・保育士・教育相談員・学校カウンセラー・心理士などによる妊娠中から乳幼児・児童・思春期までの相談(電話・面談)
☎ 800-2465 月曜～金曜8時45分～17時(祝休日を除く)

地域子育て支援拠点すきっぷ

「子育てパートナー」による未就学児までの子育て相談
☎ 805-6133 9時30分～15時30分
休館日:日曜・月曜(祝日の場合は火曜)・祝日

児童虐待に関する相談機関

区役所子ども家庭支援課

☎ 800-2465
月曜～金曜 8時45分～17時(祝休日を除く)

よこはま子ども虐待ホットライン

☎ 0120-805-240
24時間365日フリーダイヤル

横浜市西部児童相談所

☎ 331-5471
月曜～金曜 9時～17時(祝休日を除く)

かながわ子ども家庭110番相談LINE

月曜～土曜
9時～21時(年末年始を除く)

登録はこちら▶



☎ 子育て支援担当 ☎ 800-2447 ☎ 800-2513

広告